

第四十一回 帝國議會 貴族院 高等諸學校創設及擴張費支辨ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號

大正八年三月二十日(木曜日)午後三時開會

○委員長(伯爵大木遠吉君) 是カラ開會イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ……質問デスガ……

○委員長(伯爵大木遠吉君) 質問ガ御アリナラ質問

ヲ……

○男爵阪谷芳郎君 ソレデハ差控ヘマス、モウ質問ハ終リ

マシタカラ……

○委員長(伯爵大木遠吉君) ソレデハドウゾ御意見ヲ……

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此三分科ノ決定ヲ待テ成ル

ベク此案ニ付テハ意見ヲ申述ベズニ進行ノ出來ルヤウニ考

ヘテ居リマシタケレドモ、色、時期切迫、又他ノ分科ノ開會

ノ御都合モアルヤウデ、今日御決議ニナルト云フコトデアリ

マスレバ、遺憾ナガラ本案ニハ反對セザルヲ得ヌノデゴザイマ

スガ、其反對ノ理由ハ第一ニハ此學校ノ建築ト云フヤウナ

コトニ借金ヲスルト云フコトハ、先ヅ從來私ノ記憶イタシテ

居リマス限リデハ例ガ無イ、長イ歴史ノコトデアリマスカ

ラ何カ多少アタカモ知レマセヌガ、私ノ記憶シテ居ル限リデ

ハ例ガ無イ、又將來ニ於テモ極メテ惡例デアラウト考ヘマス

ソレデ先日或ル委員ガ學校ハ生産ダト云フ説ガアリマシタ

ガ、此生産不生産ト云フ財政上ニ用ヒテ居ル言葉ハ、其事

業ノ收入ヲ以テ其公債ノ元利ヲ償却シ得ルモノヲ財政上

ニ於テハ生産ト云フヤウニ申シテ居リマス、マア其言葉ハ何

レデモ宜シウゴザイマスケレドモ、兎ニ角鐵道トカ電話トカ

云フヤウナ物ニ付テ、政府ガ公債計畫ヲ立テラレルト云フコ

トハ相當デアラウト考ヘル場合モゴザイマス、サウ云フモノデ

モ、マア成ルベクハ國家ノ財政ハ借金ニ依ラヌ方ガ宜イノデ

アリマス、此度ノ大戰争ニ於テハ諸國ノヤリ方ヲ見シテモ、

矢張り増稅ヲ施行シテ、成ルベク此公債計畫ヲ少クスルコ

トニ努メテ居ルト云フヤウナ譯デアアル殊ニ帝國政府ノ財政

ハ日露戰役後幾分信用ガ落チテ居リマシタノヲ、漸次其

信用ノ恢復ニ歷代政府ニ於テカメラレテ、今日ハ餘トド財

政ノ基礎モ鞏固ニナリツ、アルノデゴザイマスガ、此度ノ事

件ノ爲ニ少カラヌ又公債ヲ發行セバナラヌヤウナ都合ニ

ナッテ居ル際デアリマシテ、旁、斯ノ如キ種類ノモノニ公債發

行ト云フコトノ例ヲ開クト云フコトハ、甚ダ宜シクナイ、甚ダ

宜シクナイコトト考ヘルデアリマス、而シテ此事ニ付キマシ

テハ、一昨日本會議ヲ通過シマシタ總豫算ノ報告ノトキニ

委員長ヨリ申述ベラレマシタ如クニ、政府ノ八年度ノ計畫

ノ上ニハ公債ノコトガ甚ダ懸念デアル、デ此事ハ注意シテ貴

族院高等諸學校創設及擴張費支辨ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號

大正八年三月二十日

一七

兵ノ目的並ニ意義ノ、段々擴張セラレマシタコトカラ考ヘ

マシテモ、經費不足ト云フコトハ九年度以降ニ於テモ免レ

ヌコト、思ヒマス、ソレ等ノ場合ニ於テハ、政府ハ相當ナル

財源ノ計畫セラレネバナラヌ筈ト思フノデアリマシテ、軍

費トカ鐵道電話トカ、其他ソレニ類スル事業ニ公債ヲ向ケ

フヤウニト云フ希望條件ガ通過イタシテ居リマス、是ハ豫算

第一分科ニ於テモ其論ガアッテ、又豫算總會ニ於テモ其希

望ガ通過シテ、ソレガ本會議ニ於テハ委員長ヨリ報告ニナ

タコトデアリマス、我々ハ未ダ此委員長報告ノ舌ノ根ノ乾カ

ヌノニ、斯ル公債ニ同意スルト云フコトノ決議ヲスルノハ、甚

ダ矛盾ノコトデアルト考ヘマスノデゴザイマス、ソレ故ニ性質

ニ於テモ宜シクナイ、又本院ガ數日前ニ總豫算ヲ通過シタ

希望條件ニ照シテモ宜シクナイコトデアアルノデ、斯ノ如キ法

律案ハ見合ハサレタ方ガ宜カラウト、剩餘金モマダ有ルト云

フコトデアリマス、デ剩餘金ガ有ルノニ、斯ル性質ノ宜シク

ナイ公債ヲ起スト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデ又剩餘

金バカリデハナシニ、政府ハ寄付金モ當テニシテ居ルト云フ

コトデアアルノデアリマス、其寄付金ナリ、剩餘金ナリガ有リマ

スレバ、ソレヲ以テ其支辨ノ付コトデアリマスカラ、斯ウ云

フ法律ハ御提出ニナラヌ方ガ宜カラウト考ヘルノデアリ

マス、三分科ノ決議ヲ承知イタシマセヌカラ、三分科ノ決定

ガドウナルカ分リマセヌガ、先日政府ノ説明ニ依レバ、此三

千四百萬圓ヲ決議シテ貴ハヌト計畫ガ不安定ニナルカラ

ト云フヤウナ御説明ガアリマシタノデゴザイマスガ、若シ三

分科ガ別ニ修正ヲ加ヘナイデ三千四百萬圓ノ繼續費ヲ可

決スルナラバ、繼續費ト云フコトニナリマシタ以上ハ、其計

畫ガ内閣ノ變動ニ依テ變ハル憂ハ毫モゴザイマセヌ、是

ハ上下兩院ガ同意シナケレバ、之ヲ動かカスコトハ出來ヌノ

デアリマスカラ、上下兩院ガ同意シテ動カス場合ニハ困

ルト云フヤウナコトヲ云フト、殆ドモウ其以上ニハ安定

ヲ求メヤウガナイノデアリマスカラ、繼續費トナッテ居

リマスレバ、毫モ内閣ノ計畫ヲ御遂行ナサル上ニ不安ナ

コトハ少シモゴザイマセヌ、若シ三分科ニ於テ八年度以

下ノ繼續費ヲ削ルト云フコトニ御決定ニナリマシタ場合ハ、

ソレハ私ヨリ説明スルマデモナク、何モ公債財源ノ法律ヲ

決定シテ置ク必要ハナイ、是ハ政府ニ於テモ、貴族院ガ修

正スルマデモナク、政府ニ於テ此法律案ハ當然御撤回ニナル

コト、思フノデアリマスノデ、ソレデ、此事ヲ否決シタガ爲ニ、

政府ノ教育行政施行ヲ殆ド不安ナラシムルコトハ毫モアリ

マセヌ、ソレデ財政ノ一年計畫ノ上カラ申シマシテモ、本員

ノ見ル所ヲ以テスレバ、八年度ノ政府ノ此度御提出ニナリ

マシタ計畫ノ結果トシ、又豫算委員會總會ニ於テモ、段々御

説明ニナリマシタ陸海軍ノ計畫、又西比利亞ノ狀況ニ付

テ、過日日本員ガ總理大臣ニ御尋ネ致シマシタ西比利亞出

兵ノ目的並ニ意義ノ、段々擴張セラレマシタコトカラ考ヘ

マシテモ、經費不足ト云フコトハ九年度以降ニ於テモ免レ

ヌコト、思ヒマス、ソレ等ノ場合ニ於テハ、政府ハ相當ナル

財源ノ計畫セラレネバナラヌ筈ト思フノデアリマシテ、軍

費トカ鐵道電話トカ、其他ソレニ類スル事業ニ公債ヲ向ケ

テ、過日日本員ガ總理大臣ニ御尋ネ致シマシタ西比利亞出

兵ノ目的並ニ意義ノ、段々擴張セラレマシタコトカラ考ヘ

マシテモ、經費不足ト云フコトハ九年度以降ニ於テモ免レ

固ニシテ、其信用ノ厚イコトヲ望ムハ當然デアリマス、五
六年ニ亘テ日本ノ財政ノ不足スルコトヲ豫メ法律ヲ以テ
廣告シテ置キヤウナコトハ、甚ダ是ハ取ラヌノデアリマス、故
ニ政府ニ於テハドウゾ此法律案ト云フモノハ御ヤメニナツ
方ガ宜シカラウト考ヘマス、併シ唯茲ニ一ツノ問題ガゴザイ
マスノハ、此八年度ノ豫算ヲ成ルベク無事ニ通シタイト云
フノガ本員ノ考ゴザイマシテ、唯本員ガ心配イタシテ居リ
マスノハ、三分科ニ於テ殊ニ一二ノ御方ノ説ヲ承ハリマシ
タ所ガ、繼續費ノ内容ガ臨時教育會ノ趣旨ニモ抵觸シテ
居ルシ、又斯ク多數ノ高等學校ノ必要ハナイト云フヤウナ
餘ホド重大ナ議論ヲ本員ハ承ハリマシタガ、本員ハ教育行政
ノコトニ付キマシテハ甚ダ素人ゴザイマス、是ハ何レニカ三
分科諸君ノ御決定ヲ待ツテ、自分ハ贊否ヲ決スルノ外ナイト
考ヘテ一言モ此事ニ付テハ意見ヲ述ベテ居リマセヌノゴザイ
マス、併シ此三分科ガ修正スル所致シマシテモ、八年度ノ經
費ハ認メルト云フコトノ議論ニハドナタモ御異存ハナイ、八
年度ニ頭ヲ出シテ居ル學校ノ創設費ハ御認メニナルト云フ
コトデアレバ、其八年度ニ對スル財源ト云フモノハドコカニ
極メテ置カケレバナラス、所ガソレハ此法律ニ依ツテ九十
何万約百萬圓ノモノヲ必要トスルノデアリマス、百萬バカリ
ノ爲ニ此法律ヲ作シテ置クコトハ、是ハ政府モ餘リ必要トセ
ラヌコト、思ヒマス、今其百萬マデモコ、デ否決
イタシマス、勢ヒ此豫算ト云フモノガ衆議院ノ方ヘ交渉シ
ナリマスノデゴザイマセウ、マウ衆議院ノ方ヘ交渉イタシマ
シテ、衆議院ガ理ノ在ル所ニ同意スルハ考ヘマス、ケレドモ、
此度ノ教育費ノ豫算ハ、政府ニ於テモ之ニ重キ置カレ、
今年御提出ニナリマシタ各種ノ案中デハ、頗ル重大ナ案デ
ゴザイマス、殊ニ今日ノ時局ニ於キマシテハ、政府ノ信
用ノ固イコトヲ列國ニ示スノハ、最も必要ナ場合デゴザイマ
スカラ、成ルベク衆議院ニ對シテ斯カル重要ナル案件ニ付
テ交渉ヲ開クコトハ、本員ノ欲セザル所デアリマス、成ルベク
政府ノ信任ト云フコト、政府ノ責任ヲ重シラレト云フ
コトハ必要デアルト思ヒマス、ソレ故ニ八年度ニ要スル百萬
マデノモノハ、是ハ致シ方ガ無イ、致シ方ガ無イカラ本員ハ
法律案全部ヲ否決イタシタイノデアリマス、ケレドモ、右様ナ
事情ノ下ニ於テ修正案ヲ提出イタシタイト思ヒマス、ソレハ
「政府ハ大正八年度ニ於テ百萬圓ヲ限リ借入金ヲ爲スコ
トヲ得」ト云フ、是ハ百萬圓バカリノ爲ニト甚ダ妙ニ御考ヘ
ニナルカ知レマセヌガ、之ハドウシテモ衆議院トノ交渉ヲ避
ケルト云フニハ、此所デ法律ヲ認メテ置イタ方ガ便利デア
ルト思ヒマス、政府ハ大正八年度ニ於テ百萬圓ヲ限リ借入
金ヲ爲スコトヲ得、前項ノ經費中帝國大學ノ擴張ニ關スル
モノニ付テハ帝國大學特別會計法ヲ適用セヌト致シマス

カ、或ハ二項ハ政府ニ於テ大シタ必要ガナケレバ、二項ハ創
テモ宜シウゴザイマス、本員ハ「政府ハ大正八年度ニ於テ百
萬圓ヲ限リ借入金ヲ爲スコトヲ得」ト今三分科ニ付託サレ
テ居ルモノハ、成ルベク衆議院ニ廻サヌデ解決ノ付クヤウニ
致シタイ、三分科デ若シ内容ニマデ立入デ繼續費ヲ削ル
ヤウニナリマスレバ、是ハ第三分科會ノ決議ノ結果トシテ、
貴族院ノ方カラ衆議院ニ交渉ニナリマスガ、其コトハ三分
科諸君ニ於テ決定シテ居ラヌト云フコトデアリマス、本
員ハ此法律案ハ先ヅ大正八年度ニ於テ百萬圓ヲ限リ借
入金ヲ爲スコトヲ得、委員會ハ修正ニ御同意下サデハ
如何デゴザイマセウカト考ヘマス、カラ修正案ヲ提出イタシマ
ス

○木場貞長君 私ハ本案ニ對シテ、絶對ニ一モ二モナク
贊成イタスト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌガ、政府ノ御意
嚮ヲ確カメテ、然ル上確タル贊否ノ意見ヲ申スツモリデゴザ
イマス、併シ今阪谷君カラ修正トハ申シナガラ、寧ロ反對ノ
意見ヲ以テ御提議ガゴザイマシタカラ、一ト通り意見ヲ申
述ベテ然ル上政府ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、此案ハ申
迄モナク高等學校、高等諸學校創設及擴張計畫ト相伴
フ法案デアデ、創設及擴張ト云フコトガ必要デアレバ、
此法案ヲ必要トスルコトニナル、尤モ擴張及創設ト云フ
コトガ決タ所デ、尙ホ普通ノ經費ヲ以テ、普通經常ノ費
用ヲ以テ、公債支辨ニ依ラズ實行スルコトヲ決、タ上デハ、
アル譯デアリマスガ、創設及擴張ト云フコトガ決、タ上デハ、
公債ニ據ルカ普通經費ニ據ルカト云フ所ノ得失ハアル譯
デアリマスガ、詰リ此三ツノ方面カラ睨ミ合ッテ決定シナケ
レバナラスコトカト思ヒマス、ソレデ高等諸學校創設及擴
張ニ必要ト云フコトハ、是マデ更ニ學校ノ設備ガ國運ノ
進歩ニ伴ハズ、偉大ナル缺陷ガアデ、殆ド便ルコトガ出來
ナイ狀態ニナツテ居ルト云フコトハ、教育會ノ議論デア
ルミナラス、皆此父兄……子弟並ニ父兄ガ的確ニ感ジテ居
所デ、前途有爲ノ少年デ、家中堅トナルベキ人達ガ、就學
上非常ナル不便ヲ蒙テ、其力ヲ國家ニ貢獻スルコトガ出
來ナイト云フコトハ、誠ニ歎カハシイコトデアル、ソレ故ニ此
コトノ聲ガ段々大キナツテ、今日ハ恐多クモ宮中マデ其聲
ガ或ハ届イタモノカ、辱ナクモ御下賜金マデ御下賜ニナツ
場合デアリマス、創設及擴張ノ必要ナル、擴張其モ
ノ、必要ナルコトハ、私ハ第一ニ宜イト考ヘテ居リマスガ、
唯今ノ場合ハ創設擴張費ノ財源ヲ得ルト云フコトヲ考ヘ
タイ、考ヘテ居リマス、其創設擴張ノ費用ハ、阪谷君
ノ仰シヤツ所ハ誠ニ正當ノ論デ、公債支辨ニ據ルコトハ
好マシイコトデアリマセヌ、生産事業ナラザルモノニ、公債
ヲ募テ財源ヲ得ルト云フコトハ、是ハ誠ニ變則デ國家ノ財

政上何所マデモ望マシイコトデアリマセヌガ、併ナガラ是ハ
程度問題デ財政眼カラ見レバ、是ダケカ絶對ノ眞理デハ
リマセヌ、他ノモノトモ亦比較シテ其宜シキヲ制サナケレバ
ナラスコト、考ヘマスガ、學校創設擴張ノコトハ今日ノ場
合ハ是クラキノ公債ヲ募ルコトハ尙ホ大ナル必要アリト私
ハ考ヘマスノデアリマス、經常費ノ場合ニ於キマシテハ、今
日ノ財源ニ尙餘裕ガアルトカ無イトカ云フコトハ、人々ノ見
ル所ニ依テ異ナルコト、思ヒマス、教育費ノ爲ニモ今後總
理大臣ニ向テ、議場デモ聲明セラレタヤウニ、從來ノ學校
ノ改善ト云フコトハ、此擴張費ニ見込デハナイ、殊ニ多大ノ
金ヲ要スル、又今日マデ既ニ漸次拵ヘ來ツタ所ノ學校ニ、多
大ノ經費ヲ要スルコトニナルノデアリマス、一部ノ經常費ヲ
出シテ居ル所ニ益、殖エテ來ル、又新シク出來ル學校ハ其
經費全部ヲ國家デ供給シナイレバナラス、其他教育ノ爲ニ
使ハナケレバナラス費途ハ澤山アルノデアリマス、多少餘裕
ガアルト云フデモ、其餘裕ヲ全部今日學校創設及擴張費ノ
爲ニ使フコトハ出來ナイ、軍事ノ爲ニ國防ノ爲ニ多大ノ費
用ヲ要スルコトハ、其他ノ費用ニモ澤山ノ經費ヲ要シマス
デアリマス、教育ノ爲ニモ失張リ今後多大ノ金額ヲ要ス
ル譯デアリマス、之ヲ全然投下スル譯ニハ行キマセヌ、
教育ハ之デ打切ル譯ニ參リマセヌ、ソレ故ニ私ハ學校ノ創
設及擴張ト云フコトヲ、絶對ニ必要ト認メル以上ハ、公債
支辨ニ依ルコトモ餘儀ナイト考ヘマシテ、今御尋ネセントス
ル費途ニ對シマシテ、政府ノ見ラレル所ノ如何ニ依テハ贊
成シタイト考ヘマス、此度ノ高等諸學校創設及擴張ノ御
計畫ノ大體ニ於テハ、誠ニ結構ナコトデ時宜ニ適シタモノ
ト思ヒマスガ、其内容ニ至リマシテハ尙ホ調査研究ノ必要
ガアルカノヤウニ思ヒマス、誠ニ大體ハ宜シキヲ得テ居ルガ、
其細目ニ至ツテハ尙ホ不十分ノ所ガアルヤウデアリマス、
茲ニ於キマシテ政府ノ御意嚮ヲ伺ッテ政府ノ御決心ノアル
所如何ニ依リマシテ贊成イタシタイト申ス所以デアリマス、
御尋イタシタイノハ此度新ニ文部省ニ御設ケニナル所ノ既
ニ豫算デモ定メテ居リマス所ノ教育諮問機關ハ權威ノアル
モノニサレヤ否ヤト云フコトデアリマス、第二ノ點ハ今申
上ゲマシタ通りニ高等教育機關ノ創設擴張ノ計畫ハ、學
校及學科ノ種類並ニ其施設安排等ニ付キマシテハ、尙ホ
調査研究ノ餘地ガアルモノト存ジマス、カラ、政府ハ此教
育諮問機關ニ意見ヲ求メラレテ、其答申ニ重キヲ置イテ、
大正九年度以降ニ於テ適當ノ處置ヲ取ルノ御覺悟アリヤ
否ヤ、原案ヲ固執スルコトナク教育諮問機關ニ御諮詢ニナ
ツテ、其答申ニハ重キヲ置イテ、多少此計畫ノ内容ニ付テ改
善ヲスルコトノ方法ヲ取ルノ御決心、御覺悟ガアルカト云
フコトヲ伺ヒマス、是ハ文部當局ニ伺フノミナラズ、容易

ナラス大計畫ニ其計畫ノ完全ヲ認メズシテ或ハ賛成ヲシヤ
ウカト云フノデアリマスカラ、總理大臣カラモ其意嚮ヲ御市
シアラムコトヲ併セテ願フデ置キマス

○國務大臣(原敬君) 唯今木場君ノ御質問ガアリマシタ
ガ、私ハ今日マデ此委員會ニ出席ヲ致ス機會ガナカタノデ
アリマス、今日初メテ出席イタシマシタカラ一應政府ノ考ヲ
申述ベテ置キタイノデアリマス、尤モ今日マデ文部當局ヨリ
段々説明モ致シテ居ル、又質問ニ對シテ答辯モ致シテアル
コトデアリマスカラ、或ハ重複イタシ、蛇足ニ陥ルコトモアラ
ウト思ヒマスルケレドモ、簡單ニ政府ノ考ヲ重ネテ申シテ置
キタイノデアリマス、私ガ茲ニ喋々説明致スマデモナク、又
屢、機會アル毎ニ衆議院並ニ貴族院ニ於テモ説明イタシマ
シタカラ、重ねテ茲ニ繰返スマデモナクコトデアリマスルケレ
ドモ、今日ノ教育上ニハ種々ノ缺陷ガアリマス、義務教育ヨ
リ大學ニ至ルマデノ間ニ其機關、教員ニ對シ、學生ニ對シ、
學科目ニ對シ、種々ナルコトハ改良刷新ヲ圖ルコトガアルト
思フノデアル、然ルニ段々臨時教育會議ニ於テ段々決定サ
レマシテ、之ヲ基礎トシテ新學制ハ發布サレテ、四月一日ヨ
リ實施セラレタノデアリマス、併ナガラ如何ニ新制度ガ確定イ
タシマシテモ、尙ホ此制度ヲ十分ニ效果ヲ現シ、教育ノ刷新
ヲスルト云フコトニ付テハ、唯新教育會議ヲ發布シタノミデハ
唯今申ス如ク種々ノ缺陷ガアリマスルカラ、之ニ向テ十分ナ
ル注意ヲ致サヌケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、而シテ其
缺陷中ノ最モ大ナルモノ、最モ急ヲ要シテ何トカ致サヌケレ
バナラスモノハ何デアアルカト申セバ、高等教育機關ノ不足デ
アル、是ハ屢々説明モ致シ、又皆サンモ既ニ御承知デアリマ
セウガ、此高等教育機關ノ不足ノ爲ニ、年々此高等教育ヲ
受ケルコト出來ズシテ、方向ニ迷フ學生ガ非常ニ多イノデア
リマス、今日五万モアルト云フコトハ……停滯シテ居ル五万
デ、年々五万ト云フ數ハアリマスマイケレドモ、非常ナル數ガ
アルト云フコトハ認メラレノデアアル、之ガ爲ニハ是等學生
ノ心理狀態ニモ甚ダ面白カラヌ結果ヲ見マスルシ、社會ノ
上カラ見マシテモ、或ハ不良少年ガ多クナルトカ、色々ナル
茲ニ弊害ヲ生ズルノデアアル、故ニ何ト致シテモ此缺陷ハ第
一二補ハナケレバナラヌト考ヘタノデアリマス、茲ニ至テ高
等教育機關ノ擴張ヲ最モ必要ナルモノ、又最モ急ヲ要スル
モノト考ヘタノデアリマス、然ルニ唯今阪谷君ナドノ御意見
アリマス、即チ普通財源ニ依テ此計畫ヲ圖レト云フコトデ
アリマス、併ナガラ普通財源ニ依テドウシテモ十分ニ效果
ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ、歴代ノ當局者モ苦心イタシマシタ
ケレドモ、ドウシテモ效果ヲ十分舉ゲルコトガ出來ナイ、故

ニ急中ノ最モ急ナルモノトシテ、多クノ高等學校、實業學
校等ハ寄附金ニ依テ設立シ、寄附金ニ依テ學校ヲ建アル
ト云フ其事モ、甚ダ面白カラヌコト思ヒマスガ、況ヤ國家
ガ斯ノ如キ手段ニ依テ教育機關ノ全キヲ圖ルコト云フコト
ハ到底、長ク歲月ヲ費シタラ出來ナイコトハナイデセウケレ
ドモ、急速ニ出來ナイ、然ルニ他ノ一面ヲ見マスレバ歐洲ノ
戰爭ハ終リ、是ヨリ列國ノ競爭ト相成ルノデアアル、經濟上
ニモ、貿易上ニモ何レノ點ニ於テモ非常ナル競爭ニ相成ル
ガラウト思ヒマスガ、斯様ナルコトヲ將來見マスレバ一日モ
速ニ此缺陷ヲ補フデ、教育ヲ……高等教育ヲ受ケル學生ヲ
多カラシメテ、日本ノ學問ノ程度ヲ高メテ、有爲ノ人才ヲ
造ルコトニ致シタイト考ヘタノデアアル、是ハ何事モナケレバ矢
張り從來ノ通り普通財源ニ依リ、普通財源ハ矢張り缺乏
デアリマスカラ、寄附ナドニ依テ補フ……建テテ居リマシタ
ラ數十年ノ後ニハ目的ヲ達スルカモ知レマセケレドモ、一
面此戰爭ノ結果カラ、ドウシテ見テ居リマシテモ左様ナル優
長ナル手段ハ取レヌト私ハ考ヘテ、又學生ノ狀態ヲ見マシ
テモ唯今申シタル如キ狀態、而シテ人志モ稍何トナク變動
ヲ戰爭ノ結果ニシテ與ヘツ、アルヤウナル狀態デアリマスル
カラ、左様ナル人心ノ變動ヲ來サウナル時ニ、此缺陷ヲ補
ハズシテ、矢張り年々方向ニ迷フ學生ヲ多カラシムルト云フ
コトハ國家ノ爲ニ甚ダ不利ナルコト考ヘテ、ソコデドウシテ
モ高等教育機關ノ擴張ヲ致サヌケレバナラス、サテ之ヲ擴
張イタストシマシテ、從來ノ通りノ手段デヤレバ恐ラク從來
ノ通りノ缺陷ニ陥ルデアラウト思ハザルヲ得ヌノデアアル、從
來ノ當局者トシテモ決シテ此高等教育ヲ等閑ニ附シタコト
ハナイト思フ、等閑ニ附シタコトハアリマセケレドモ、何時
デモ財源ノ爲ニ困難ヲ生ジテ十分ナル效果ヲ上ゲルコトガ
出來ナイ、多クハ皆寄附ヲ以テ、御承知ノ通り東北大學ニ
シテモ、福岡大學ニシテモ、札幌大學ニシテモ寄附ニ依テ
出來テ居ル、其他年々御協賛ヲ仰グ所ノモノモ皆寄附デア
ル、斯ノ如キ高等諸學校寄附ヲ當ニシマスレバ、矢張り今
日ノ狀態ノ如ク數十年ヲ待タナケレバナラヌノデアリマス
ガ、今日ノ學生ノ狀態ヲ見テモ、世界ノ競爭ニ日本ガ加ハ
ル、遭遇スルト云フ狀態カラ見テモ、決シテ斯様ナル狀態ヲ
長ク繼續スルコトハ出來ナイト私ハ思フノデアリマスカラ、
茲ニ一大決心ヲ以テ、高等教育機關ノ擴張ヲ計ラナケレバ
ナラヌト考ヘタ次第デアリマスガ、而シテ其財源ハ從來ノ如
ク普通財源ニ依ルトカ、其缺乏ヲ寄附ニ依テ居ルナント云
フコトデハ、到底此急ニ應ズルコトハ出來ナイト考ヘテ、ソ
コデ公債又ハ借入金ニ依テ此機關ヲ増設イタシテ、缺陷
ヲ補フト云フ方針ヲ取ツタノデアリマス、而シテ此公債又ハ
借入金ニ依ルト云フコトニ付テハ、色々御議論モデアリマス

ガ、成ベクハ左様ナコトハ避ケタイノデアリマス、併ナガラ之
ヲ避ケルガ爲ニ、從來ノ如キ弊害ニ陥ルコト云フコトハ甚ダ好
マシクナイト國家ノ爲ニ考ヘルノデ、ソコデ公債又ハ借入金
ニ依ツタノデアリマスガ、而シテ公債借入金ハ甚ダ宜シクナ
イト云フ御議論ハアリマスガ、元來借入金又ハ公債ハ是ハ
止ムヲ得ナイ手段デアリマスガ、普通財源ヲ以テ充テシ得レ
バ、ソレデ差支ナイ話、併ナガラ必ズシモ、是ガ不可ナルモノ
トモ考ヘマセヌ、固ヨリ生産的ノ事業ニ、公債借入金ニ依
ルト云フコトハ當然デアリマスガ、生産ナラヌトモ、例ヘバ國
防上止ムヲ得ザルモノトカ、何トカ云フモノハ矢張り公債借
入金ニ依テ居ルノデアリマス、此教育單リ其手段ニ依レヌ
ト云フ答ハナイト考ヘマス、併ナガラ經常ノ費用ヲ公債ヤ
借入金デ補フト云フコトデアレバ、財政ノ基礎ヲ紊スノデア
リマス、併ナガラ經常ノ費用、即チ此學校ヲ創設イタシマシ
テモ、從來ノ學校同様ニ矢張り經常ノ費用ヲ以テ此維持
ヲ致サヌケレバナラス、教員ノ俸給其他諸雜費、總テ之ヲ維
持スル爲ニハ皆普通財源ヨリ支出イタサナケレバナラヌノデ
アリマス、此公債借入金ニ依テ致スモノハ全ク其機關、其
建物ヲ創設イタシ、其場所ヲ多クスルト云フノデアリマス
カ、臨時ノ一時ノ費用デアリマス、臨時ノ費用ヲ公債借入
金ニ依テ充テタスト云フコトハ、國家トシテ決シテ此急ニ應
ズルニハ不適當ナル處置トハ思フデ居リマセヌ、此海陸軍ニ限
テ公債手段ニ依テ、單リ教育ハ此急ニ應ズルコトガ出來
ナイト云フコトハ、私ハサウ解釋スルコトハ出來ナイノデア
リマス、又公債ハ大變大キナルカラト云フコトハ御尤モデ
アリマス、公債ヲ成タケ多クシナイト云フコトハ宜シイノデア
リマス、尤モ生産的ノ公債ナラヌモノモ左マデ心配ハアリマ
ス、成ベク多クシナイノガ宜シイノデアリマス、併ナガラ
此公債ハ應ジ切レナイモノデモナシ、又公債又ハ借入金デア
リマスカラ公債ガ募集出來ヌ時ニハ一時借入金デ是ダケノ
額ガ出來ヌコトハナイ、又之ニ加フルニ寄附金デモアリマス
レバ……固ヨリ寄附金ヲ豫期シテハ此教育ノ完全ヲ期スル
コトハ出來ヌト考ヘタノデアリマス、寄附金ヲ當ニシマセヌケレド
モ、地方ノ寄附モ歡迎シ、或ハ個人ノ好意ニ依テ寄附ヲ致
スト云フコトデアリマスレバ、矢張り寄附ヲ受ケテモ宜シイト
考ヘマスカラ、寄附ヲ受ケタケハ公債借入金ノ額ハ減ズル
ノデアリマス、尙更以テ國家ガ之ヲ實行スルニ非常ナル困難
ニ陥ルト云フコトハ想像イタサレヌノデアリマス、縱令公債
ハ十分募集出來マセヌデモ、借入金ニ依ルト云フコトハ出
來得ザルコトデナイト考ヘマスカラ、此臨時一時ノ費用トシ
テ此機關ヲ創設スルダケノコトハ、公債借入金ノ手段ニ依
テ之ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、又今一年限リハ云々
ト云フコトガアリマシタケレドモ、今日ノ計畫ト云フモノハ

實ハ先づ最少限度ノ計畫ト認メテ宜シイカト思ヒマス、尙ホ餘格アルカ相當ノ手段ガアレバ、更ニ公立ノモノモ増シテモ宜シイ、私立ノモノヲ増加シテモ宜シイ、官立ノモノモ尙ホ多ク致シマシテ、學生ノ收容力ニ幾分デモ餘裕ヲ生ジマスレバ、之ニ越シタコトハナイノデアリマス、ソコマデニ行カセル爲ニ先づ大體今日ノ急ニ應ズル最少限度ニ於テ、斯ノ如キ計畫ヲ立タラ宜シカラウト思フノデアリマス、左様ナ計畫ヲ立テルガ、之ニ一年限リノ費用、アトハアトデ計畫スルト云フヤウナコトデハ、完全ノ期セラレヌノデアリマス、又是ガ費用ノ中ニハ教員ノ養成モアリマス、教員ノ養成ト云フモノハ數年ヲ要スル、殊ニ多クノ教員ヲ造ルト致シマスレバ、其人自身ニハ長クナクテモ相當ノ年限ヲ費サナケレバ十分ナル人員モ、カアル者モ得ルコトハ出來ナイノデアリマス、一年限ノ費用ヲ以テハ目的ヲ達スルコトハ出來ヌノデアリマス、若シ是ガ一年限ト云フコトデアレバ、根本的ニ此法案ガ否決サレルコト、同様デアリマス、是ハ國家ノ爲ニ私ハ甚ダ不利益ナコト、考ヘマス、殊ニ國家今日ノ狀態ニ於テ尙更遺憾ニ考ヘマス、十分ナル御考慮ヲ願ヒタイ、斯様ナル次第デハ提出イタシタノデアリマス、既ニ色ニナ機會ニ說明ヲ致シタコトヲ重複ナガラ、搔擗シテ申シタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマス、併ナガラ之ヲ實行スルニ當リマシテ、又色ニナ調査研究ヲ要スルノデアリマス、元來衆議院ニ於テモ說明イタシマシタノデアリマス、今日ノ教育ノ改良ヲ計ル急務ハ高等教育機關ノ不足ヲ補フ十分ニスルト云フコト、並ニ此新制度ヲ實施スル爲ニハ種々ナル改良ヲ加ヘナケレバナラス、科目ニ付テモ無論改良ヲ加ヘナケレバナラヌ、其他ノコトニ付テモ色ニ改良ヲ加ヘナケレバナラヌノデアリカラ、此コトヲ必要トスルガ、併シソレハ直ニ出來ルモノデナイ、十分ニ調査ヲシナケレバナラス、故ニ此新制度ヲ實施シ新計畫ヲ實施スル爲ニハ、成ベク速ニ之ヲ調査研究シテ、相當ナ處置ヲ取ラナケレバナラヌト考ヘルカラ、今年臨時費ヲ以テ此調査機關ノ費用ヲ請求シテ居ルノデアリマス、斯様ニ申シテ居タノデアリマシテ、唯今木場君ノ御質問ハ丁度ソレニ當ルノデアリマス、ソレデ私ハ此諸機關ヲ設ケマシテ、相當ニ之ヲ調査イタシマシテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘマス、デ此コトニ付テハ先般豫算總會ニ於テ確カ江木君ノ御質問デアリマシタカ、御答ヲ致シタノデアリマス、或ハ文部省ノ屬僚ナドヲ以テ、詰ラヌ不完全ナモノヲヤリハシナイカト云フヤウナコトガアリマシタカ、無論文部省ノ中ニ置キマスカラ、文部省ノ役人ガ關係シナイト云コトハ無論出來マセヌケレドモ、併ナガラ完全ニ新學制ヲ實行イタシ、新計畫ヲ完全ニ實行スルニハ、相當ナル有力ナ人ミヲ集メテ、此調査會ヲ造リタイト

思ヒマス、而シテ此調査會ニハ十分ニ研究ヲ求メマシテ、其研究ノ結果相當ノ考案ヲ得マシレバ、之ヲ尊重イタシテ、之ニ依テ政府ノ計畫ノ萬遺算ナキコトヲ期シタイト考ヘマス、固ヨリ此調査會ニシマシテモ、ドノ委員會ニシマシテモ、半分ニ徒ニシテ居ルモノハアリマセヌケレドモ、併シ此教育ノ如キ重大ナル、殊ニ新シキ計畫ヲシテ、此國家ノ爲ニ缺陷ヲ全ウシヤウト云フノニハ、尙更以テ充分ナル調査ヲ要シ、充分ナル知識ヲ集メテ萬遺算ナキヲ期シタイト思ヒマス、既ニ其費用ヲ請求シテ居リマスガ、是ハ、全ク臨時ノ費用ト考ヘテ居ル、悠々緩々ト二年三年調査シテ居ルト云フヤウナコトデハ、ハイクマイト思ヒマス、成ルベク速ニ其效果ノ舉ガルコトヲ希望シテ特ニ臨時費ヲ以テ請求シテ居ルト云フ關係デアリマス、此點ニ付テハ十分ニ調査ヲ致サナケレバナラス、其調査ニ重キヲ置イテ、此計畫ノ新學制ヲ實行スルニ付テ萬遺算ナキヲ期スル積リデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○男爵阪谷芳郎君 唯今總理大臣ノ御説ニ付テハ、財政ノ議論トシテ感服ノ出來ナイコトデアリマシテ、教育ノ施設ガ急ヲ告ゲルト云フ御心配ハ至極同感デ、本員ハ何等教育ノ施設ニ付テハ總理大臣ノ御意見ニ付テ未ダ反對トモ賛成トモ申シテ居ル譯デハナイノデアリマス、本員モ臨時教育會議ノ委員ノ一人デゴザイマシテ、教育ノ施設ヲ大ニ改善シナケレバナラスト云フコトハ存ジテ居ル、併ナガラ其施行手段トシテ一箇年僅ニ五百萬圓バカリノモノヲシモノ借金トスルト云フヤウナコトハ財政ノ計畫トシテ宜シキモノデハナイ、總理大臣ハ教育ノ事モ御尊重ナサレデアラワガ財政ノコトモ御尊重ナサラナケレバ、財政ヨリ破綻ガ生ジタ場合ニハ矢張り國家ノ爲ニ非常ニ不利益デアアル、固ヨリ三千五百萬圓バカリノ公債デアリマス、ケレドモ、斯ウ云フ端ヲ御開キニナルト、所謂備作ル者ハ其後無カラシ平アリマシテ、此位ノ計畫ハ公債ノ財源ニ依ラヌデモ施行ノ出來ルモノデアアル、若シ施行ガ出來ヌナラバ色ニノ手段ガアリマスカラ、同ジ目ノヲ達スルニ付テモヨリ堅固ナ方法ヲ執ラレト云フコトガ内閣トシテ、御責任デアラウト考ヘル、縷々高等教育ノ必要ヲ御話キニナリマシタコトニ付テハ何等本員ハ今反對ノ意見ヲ申上ゲテ居ル譯デハアリマセヌ、且ツ一年限リノ計畫デハ困ルト云フ御説デアリマセヌ、其一年限リノ經費ニスルカハ困ルト云フコトハ法律案ノ問題デアリマセヌ、是ハ三分科ノ問題デアリマス、本員ガ百萬圓タケ認メヤウト言フタノハ此法律ヲ全部否決シテ衆議院ト交渉ヲ開クカラ、衆議院ト交渉ヲ避ケル爲ニ百萬圓ヲ認メヤウト云フ爲ニ唯一年ト云フコトヲ申シタノデア

リマス、ソレ故ニ縷々總理大臣ノ御述ベニナリマシタ高等教育機關ヲ至急改良シナケレバナラスト云フ御考ヲ御實施ナサレル上ニ於テ、本員ノ修正説ガ成立チマシタ所ガ少シモ其御意見ヲ妨ゲル憂ハナイ、而シテ一方ニ於テ財政ノ計畫トシテハ信用ヲ堅クスル所以デアアル、總理大臣ノ考ヲ實施スルニヨリ良キ手段デアルト云フノデ修正論ヲ申述ベタノデアリマス、是ハ議院ヲ御開キニナテ五ニ胸襟ヲ披イテ議論スル上ニ於テ是ト思ウタコトハ採リ、否ト思ウタコトハソレヲ論ジテ行カナケレバ何等ノ議院ヲ御設ケニナシタ效能ハナイ譯デアアル、既ニ大藏大臣ト雖モ公債ハ甚ダ宜シクナイト御認メニナテ居ルノデアアル、剩餘金ナリ何ナリ他ニ手段方法ハアルノデアアルカラ此法律ハ御修正ニナシタ方ガ宜イデヤナイカト云フコトヲ主張シタノデアリマス、強ヒテ此法律ニ何デモ同意セイト云フコトヲ御主張ナサル必要ハナイト本員ハ考ヘマス、ソレカラ木場君ノ御説ハ調査委員ヲ設ケテ、内容ノコトハ色ニ意見ヲ聽イテ修正スルト云フ御説デアリマシタカ、甚ダ本員ノ疑フ所デアリマシテ、是ハ毎年決算委員會デモ議論ノ生ジマシタコトデ、政府ガ豫算ノ目的ヲ變更スルコトハサウ勝手ニ出來ルモノデハナイ、何ノ爲ニ政府ハ豫定經費要求書ナリ色ニナ参考書ヲ示シテ居ルカト云ヘバ、斯ウ云フ目的ノ爲ニ是ダケノ財源ヲ要スルト云フコトヲ明ニスル爲ニ示シテ居ルノデアアル、然ルニ貴衆兩院ノ協賛ヲ經テ豫算ヲ行政官ガ時ノ都合ニ依テ流用イタスカラ検査院ガ目的ニ反スルコトヲ痛ク摘發攻撃スルノデアリマシテ、其検査院ノ批難ガ貴衆兩院ノ決算委員會ニ於テ認メラレタ場合ニ於テ、其事ガ始終問題ナル近年其事ノ減ジテ參ツハ即チ此豫算ノ目的ト云フ趣旨ガ明瞭ニナツカラデアラウト思フノデアリマス、今ノ木場君ニ御尋シテ宜イカ、ソレニ對スル總理大臣ノ御辯明ト云フカ、如何ナルコトヲ意味サレルノデアアルカ、豫算ノ目的トシテ御示シナテ居ル、要求書、其外ノ參考書ハ是ハ報告ノヤウナモノデアアル、之ニ協賛シタ所デハ政府ガアトテ勝手ニ變ハルノダト言ハレト、本員ハ大ニ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ木場君ニ御尋シテ宜イカ、總理大臣ニ御尋シテ宜イカ、分ラヌガ、會計法上大事ナ問題ト思ヒマスカラ確カメテ置キマス

○國務大臣(原敬君) 唯今阪谷君ノ御説デアリマスガ、三千五百萬圓ヲ認メズシテ百萬圓ヲ認メタラ宜シイデヤナイカト云フ仰セデアリマスガ、ソレハ全部ノ計畫ヲ否認サレタト同ジテ、一年限リハ宜シウゴザイマセウケレドモ、前途ヲ如何ニ致スカ決定ヲ致シ兼ネルノデアリマス、又剩餘金カ何カデ宜カラウト云フ御話デゴザイマスガ、何カデイカト思ヒマス、之ヲ設立スルダケノ基礎ハ立テ置キタイ、ソレニ是ハ

三千五百萬圓デアリマシテモ、マダ此外ニ經常費ト云フモ
ノガ年々教育ノ爲ニ増シテ參ル、既設ノ學校、或ハ此度新
設ノ學校ノ費用モ要スル、其他屢問題ニナリマス義務教
育、中等教育ト云フモノモアリマス、皆是ハ普通財源ヨリ
支出ノ外ハナイノデアリマス、是ガ設立ヲ致セバ他ノ費用ノ
普通財源ヨリ出スモノハナシト決シテサウヂヤナイ、
義務教育ナリ中等教育ノ教員ヲ初メトシテ色々増給其
他ノコトモアリマス、之ヲ實行セムトスル此以外ニ普通財
源ヨリ相當ナ費用ヲ要スルコトハ明カデアリマス、ト
云フ譯デアリマス、臨時ニ屬スル計畫ヲ立テ、是ダケノ機
關ヲ完成スルニ臨時ニ處置ヲ執テ公債或ハ借入金ニ依ラ
ウト考ヘルデアリマス、此以外ニ必要ナ費用ヲ段々要ス
ルデアリマス、ソレハ普通ノ財源ヨリ出スノ外ハナイノデア
リマス、臨時ノ分ダケ臨時ニ處置ヲ執テ完全ヲ期シタイ
ト考ヘルデアリマス、ソレカラ諮問機關ノコトニ付テ、御協
賛ヲ得テ目的ニ反スル、勝手ニ計畫ヲ變ヘルト云フヤウニ
私ノ答辯ヲ御聽取ニナシヤウニ聞エマスガ、ソレナラバ私ノ
申シヤウガ足りヌデアリマセウ、大ナル相違デアリマス、私
ノ申シタ次第ハ諮問機關ヲ設ケマスノハ新教育令ヲ實施
スルニ當テ完全ヲ期スル爲ニ種々調査研究ヲ要スル、又學
校ヲ創設イタシマスニ付テモ同ジコトデアアル、種々ナル調査
研究ヲ要スル、是等ノ知識ヲ集メテ相當ナル處置ヲ執テ
萬遺算ナキヲ期シタイト云フコトデ、而シテ諮問機關ノ諮
問必ズ修正スルハ極デモノデアリマス、若シ修正ヲ生ジ
テ御協賛ヲ得タル所ニ反スルヤウデアラナラバ、次第ニ依
テハ再ビ議會ニ提出シテ御協賛ヲ仰ガナレバナラヌ場合モ
アリマセウガ、一度御協賛ヲ得タモノヲ勝手ニ更ヘルト云
フコトハ常識上アルベキコトデアリマス、歴代ノ當局
モ斯様ナコトハ言フ迄モナクアリマス、検査院モ承知イ
クシマス、マイカラ、サウ云フコトハ諮問機關ハ致スコトモ出
來マイト思ヒマスガ、若シアタトスレバソレハ法規的ニ適法
ノコトデアリト思フデアリマス、而シテ又非常ナル大變動
モ要スルヤウナコトガアレバ、假令諮問機關ガ致サヌデモ
ソレハ又更ニ御協賛ヲ得ルヨリ仕方ガナイノデアリマス、今日
ノ計畫ヲ完ウスルニハ幸ニ豫算、此法律案ガ御協賛ヲ得レ
バ是デ以テ高等機關ノ完全ハ期シ得ラレト考ヘテ居ルノ
デアリマス、唯今木場君ニ御答シタノモ、諮問機關ヲ設ケテ
色々修正ヲ變更ヲ致シ、御協賛ヲ得タモノヲ勝手ニ致ス
ト云フコトハ申シマセス、萬遺算ナキヲ期スル爲ニ相當ノ處
置ヲ執リタイ、相當ノ處置ヲ執ルニ付テ無論御協賛ヲ得ナ
ケレバナラヌコトハ更ニ再ビ議會ニ提出スルノハ無論デア
リマスガ、兎ニ角實施スルニ當リマシテハ相當ニ有力ナル機關
ヲ設ケテ之ニ諮問ヲ致シテ、其研究ノ結果遺算ナキヤウニ

致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス
○男爵阪谷芳郎君 唯今ノ總理大臣ノ御答デ幾分カ能
ク分リマシタガ、其木場君ノ御尋ハ此度ノ擴張費ノ要求
書ニハ各種ノ學校ガ列記シテゴザイマス、悉ク學校ノ種類
ガ列記シテアル、過日三分科ノ有力ナル一委員ノ說ヲ承ハ
ルト、斯ノ如キ學校ハ種類ガ多過ギルトカ或ハ理工科學校
ノ施設ガ是デハ薄イトカ、或ハ法科大學ガ九州若クハ北海
道ニ在ルノハ必要ハナイト云フヤウナ、此豫定經費要求書
ノ目的ニ立入タ御答ガデアリマシタノデゴザイマス、今ソ
レハ動カシ得ヌデアアル、サウ云フ豫定經費要求書ノ目的
ヲ列記シタノ動カシ得ヌデアアルト云フ總理大臣ノ御答
デアレバ、ソレハ本員ニ於テ能ク諒承イタス次第デアリマ
スガ、木場君ノ御尋ハソレデ多少動カスカノ如クニ本員ハ
聽取リマシタカラ念ノ爲ニ御尋シタ次第デアリマス、又其
三千五百萬圓ヲ否決スルコト云フコトヲ總理大臣ガ御心配
ナサルガ、本員ハ三千五百萬圓ヲ否決スルノデナイ三千五
百萬圓ヲ否決スルシナイト云フコトハ三分科ノ問題、此法
律案ノ委員會ハ其三千五百萬圓ノ經費ノ方ニハ少シモ觸
レデ居ルノデハナイ、唯公債ト云フ財源ヲ御求メニナラヌデ
モ、他ニヨリ良キ財源ガアルデハナイイカト云フコトヲ申シタ
ノデアリマス、然ルニ總理大臣ハ此他ニモ尙モ要求スルモ
ノガアルト云フ御論デアリマセウ、ソレハ甚ダ今年度ノ
豫算ヲ議スル上ニ付テ無理ナ御論デトイカト考ヘマス、今
年大藏大臣ガ御說明ニナシテ居ル豫算ト云フモノハ今貴族
院ガ受取テ居ルモノデ、其計畫ニ依テ政府ノ要求ト云フ
モノヲ算當シテ此要求ノ上カラ經費ヲ配當シテ行クノデア
リマスガ、未來ニ於テマダ御要求ノナイモノガ幾ラモアルト
云フ理由ヲ以テ先キニ要求ニナシテ財源ヲ取除ケテ置カウト
云フコトハ、ソレハ此財政ノ趣旨ニ反スルノデアアル、現在ノ
年度ニ御要求ニナシテ居ル目的ノ爲ニ、現在年度ノ財源ヲ
充テ、餘リアレバ何モ公債ニ依ル必要ガナイ、マダ總理大臣
ハ總理大臣ノ頭カ、文部大臣ノ頭ノ中ニアルモノヲ以テ我
ニ何デモ三千五百萬圓ノ公債ニ同意セヨト云フ御說ハソ
レハ無理ナ御論デアリマシテ、私ハ甚ダ感服イタシ兼ネルノ
デアリマス、益、本員ノ議論ヲ確メルヤウニ考ヘル、ソレ故ニ
一應其事ヲ辯明イタシテ置キマス
○國務大臣(原敬君) ソレハ私ハ甚ダ説明ガ惡イノデ御
聽取リニクイカ知ラヌガ、左様ナコトハ申シタノデハナイノデ
ゴザイマス、此費用ハ臨時ノ費用デアアルガ、此以外ニ是マデ
段々設立ヲ致シ今現ニ計畫中ノ既ニ御協賛ノ濟ンダモノ
モアリマス、是等ニ付テハ皆經常費ヲ要スルノデ、經常費ガ
増シテ來ルノデアアル、又初等教育ヲ初メトシテ大學ニ至ル
迄ノ教育ノ改善ヲ圖ルト云ヘバ是モ金ガ要ルノデアアル、是

ガ皆普通財源ヨリ支出スル外ハナイノデアアル、斯ウ申シタイノ
デアリマス、唯今頭ノ中ニアルノデモ何デモナイ、當リ前ニ考ヘ
テモ費用ガ増スト云フコトハ分リ切タコトデアリマス、カ
明スル必要ガナイカモ知レマセウガ、經常費ガ増スノデア
アルカラ經常費ノ差繰ヲ以テ是等ノ學校ヲ立テ、宜イヂヤナ
イカト云フ御議論ニ敬服ハ出來ナイ、是ハ臨時ノ費用デア
テ此外ニ普通財源ヨリ出サナレバナラヌモノガアル、其臨
時ノ費用ヲ普通財源ニ依テラ宜カラウト云フ御議論ニ御
同意ハ出來兼ネルト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレカ
ラ調査會ヲ設ケル云々ノコトデアリマス、是モ説明イタシ
ノガ或ハ足ラヌノカ知レマセウガ、會計法上許ス所ノモノ
デアリマシテ差支ナイコトデアリマス、會計法上許ス所ノ
何カ委員カラ意見ヲ提出シテ、其意見ハ會計法上差支ナ
イ、議會ノ御協賛ヲ得テ目的ニ達ハナイコトデアラバ、ソ
レハ何トカ取捨按排イタシテ宜シカラウト思ヒマスガ、然
ラバ再ビ提出シテ御協賛ヲ仰ガナレバナラヌ場合モアラ
ウ、然ラザル限リハ十分ニ此委員ノ意見ヲ尊重シテ用ヒヤ
ウ、斯様ニ申シタノデアリマス、ソレカラ又此案ノコトモ衆議
院云々ト仰シヤルガ、御修正ニナシテモ衆議院ハ定メシ御
交渉ヲ開カレコトニ違ヒナイ、何レニシマシテモ御修正ガ
アリマスレバ衆議院トノ御交渉ニ相成リマセウカラ、ソレハ
私ノ關スル範圍デアリマセウケレドモ、三千五百萬圓ノモ
ノガ百萬圓ニナシタラ衆議院トノ御交渉ナシデ済ムトモ思
テ居リマセウガ、其邊ハ枝葉ノ問題ガ強ヒテ申シマセウガ、
兎ニ角私ノ趣意ハドウソ誤解ノナイヤウニ願フデ置キタイ
思ヒマス
○男爵阪谷芳郎君 度々申スノハ甚ダ國事ノ上ニ大切
ナルコト、考ヘマスカラ申シマスガ、本員ガ衆議院ニ交渉ト申
スノハ豫算ノコトヲ申シタノデゴザイマス、無論法律ガ修正
ニナレバ法律ノ交渉ト云フコトハ是ハ勿論免レマセウガ、併
シ豫算ハ衆議院ノ方ニ交渉ハ要サヌコトニナル、ソレハ枝
葉ノコトデアリマス、カラ強ヒテ辯明ヲ要サヌガ、今總理大臣
ハ普通ノ財源云々ト云フ御話ガゴザイマシタガ、本員ハ普
通ノ財源ヲ申シテ居ルノデアリマセウ、ソレハ普通ノ財源
ニ餘リガアレバ普通ノ財源ヲ御使ヒニナシテモ宜イガ、現在
大正六年度ノ剩餘金モ餘リテ居ル、又大正七年度ニハ過
日政府ノ人カラ承ハレバ二億モ剩餘金ガアルト云フ、此剩
餘金ト云フモノガアルノニ、何モ此三千五百萬ノ剩餘金ヲ
求メナクテモ差支ナイノヂヤナイカ、普通ノ財源ハ是ハ年々
生ズル經常ノ歲入デ、ソレヲ以テ成ルベク此經常費ヲ支辨
シテ尙ホ餘リアラシムルト云フコトハ最モ御同意デアリマ
スガ、前年ノ剩餘金ニ三千萬、又此現在ノ年度即チ大正

七年度ノ即チ此三月三十一日ニ終ル、モウ其計算ハ御分
リニテ居ルト思フガ、ソレガ二億ノ剩餘金ガアルノダカ
ラ、ソレヲ之ヘ持テ行クヲ宜イデヤナキト云フ、是ハマア
本員ガ政大蔵大臣ノ御職分ニ立入デ申スノデハアリマ
セヌケレドモ、議論ヲスルノニ、本員ガ無理ナ論ヲシテ居ル
デハナイ、政府ノ御考ハ萬達算ハ無イト思フケレドモ、ヨリ
良クシタイ、ヨリ良クシテ行クノヲ政府ニ於テ固執ナサル必
要ガナイデヤナキト云フ爲ニ、重ネテ申スノデアリマス

○國務大臣男爵高橋是清君 段々總理大臣カラ御
答ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、御分リニテ居ルト考ヘマ
スガ、先刻阪谷男爵ノ御質問中ノ御意見デ、此度學校ノ
創立擴張ノ爲ニ、其財源ヲ公債又ハ借入金ニ依ツタト云フ
コトハ宜シクナイト、私ガ申シタト云フコトデアリマスガ、私
ハ過日本議場ニ於テ、私ハ斯ウ答ヘマシタ、不生産ノ事
業ニ向テ、公債ヲ募リ若クハ借入金ヲシテ其財源トスルト
云フコトハ、好マシカラザルコトデアル、ケレドモ財政ノ都合
上已ムヲ得ザレバ仕方ガナイコトデアル、殊ニ此一時ノ費
用デアル、政策カラ申スレバ公債ノ如キハ成ルベク生産的
事業ノ爲ニ要スル財源ヲ作ルコトニ限リタイ譯デアルケレ
ドモ、今日ノ財政ノ状態ハ、中々サウ云フ譯ニ行カヌト云フ
コトヲ申上ゲタノデ、而シテ唯今學校ノ建設ナドニ借金ヲ
スル、斯ウ云フモノニ借金ヲスルト云フノハ惡例デアッテ、將
來ニ禍ヲ遺スト云フコトデアッテ、恰モ是ガ初メテノ如ク御
考ヘノヤウデアリマスルガ、從來ト雖モ一時ノ建設費ニハ公
債資金又ハ借入金ニ依テヤツコトハ往々アルノデゴザイマ
ス、學校トシテハ海軍ノ兵學校ヲ建テル時ニ公債支辨デ
ヤツノデアリマスガ、其他製鐵所ヲ建テル時トカ、或ハ臺灣
ノ監獄署ノ新營ヲ致ス時トカ、或ハ其官舎ノ新築ヲスル費
用ノ如キ、矢張り是モ借入金又ハ公債ナドニ依テ從來ヤ
タノデ、議院ノ建築費ナドニモ借入金ヲ以テヤツタノデ、ドウ
モ一時ノ建設ナドニナリマス、其時ノ財政ノ許サザル時ニ
ハ萬已ムヲ得ヌコトデ、是マデヤデ居ルノデ、此度ノコトハ
將來ノコトヲ考ヘマスト云フト、此一貫シタ學校ノ創設擴
張ニ對シテノ計畫ヲ、僅カノ期間ニ實行シヤウト申スノニ
ハ、ドウモ唯今御話ノ如キ剩餘金ナド宜カラウト云フヤウ
ナ、不確實ナ財源ヲ以テハ、此計畫ヲ既定ノ年間ニ必ズ實
行スルト云フ安心ガ付カヌノデアリマス、殊ニ此教員養成
ノ如キニ至リマシテハ、數年ニ亘テ入ヲ出サウト云フヤウナ
譯デアリマス、先日モ阪谷男爵ハ初メノ豫算總會ニ於キマ
シテ、ドウモ大蔵大臣ハ唯自分ノ時ダケ好ケレバ宜イノデ、
アトハドウモ構ハヌト云フヤウナ、國家ニ不親切ナ考ヲ
以テ豫算ヲ編製サレテハ困ルト云フ御論ガアリマシタ、唯今

ノコトハ丁度若シ之ヲデス、一年二年ハ此位ノ剩餘金ヲ使
タラ宜カラウト云フヤウナコトデ、此計畫ヲ豫定ノ期間ニ必
ズ行フト云フ、其誠意ナクシテ豫算ヲ立テタナラバ、是ハ却
テ先日阪谷男爵ノ仰シヤツタ通りノ其時限り、後ヲ考ヘナイ
ヤリ方ダト云フコトニナラウト考ヘマス、頭ニアルコトヲ將來
ヲ豫想シテ見ルニハ及バヌ、八年度ハ八年度ノ豫算ヲ立テ
ル時ノ考ヲ以テ、計畫ヲシテ宜イノダト云フ先刻話ガアッ
ヤウデスガ、ドウモ當局者ト致シマシテハ、將來ノコトハ少
トモ五年ヤ六年ノ先キノ財政經濟ノ状態ヲ、頭ニ入レテ計
畫ヲ立テナケレバナラヌコトハ私ハ考ヘテ居リマス、成程剩
餘金モ二億圓七年度ニ出來マス見込モアルノデアリマス、
ケレドモ將來國防ト云ヒ教育ノ改良ト云ヒ、普通ノ歳入ニ
仰グベキ所ノモノハ著シク多イト云フコトハ頭ノ中ニ浮ブ
デ、ソレコレヲ考ヘテ見マス、獨リ此教育ノ機關ノ完成ヲ
期スル爲ニ、三千五百萬足ラズノ金ヲ取除ケテ置クト云フ
コトハ、事實ニ當テ見マス云フト、毎年ノ豫算ノ査定上
ニ於テ是ハ不可能ナコトニ終ハルノデス、是ハ阪谷男爵モ
會テ御經驗ノコトデアラウト考ヘル、若シ之ヲ公債若クハ借
入金ニ依テ、確實ナ財源ヲ得テ置キマセト云フト、毎年ノ
豫算ノ査定上ニ於テ、此計畫ヲ必ズ豫期ノ通りニ實行ス
ルト云フコトハ不可能ニナル、私ハ今日ノ状態ト考ヘルノデ
ス、又外國ノ信用云々ト云フ御説モアリマシタケレドモ、決
シテ今日一時建設費ノ爲ニ教育ノ普及ヲ圖ル、而モ非常
ナ缺陷ノアルモノノ上、之ヲ成ルベク短時間ニ補充スルト云フ
教育擴張、教育ノ上ノ改善ヲ圖ルコト云フ爲ニ、一時建設費
ノ爲ニ公債若クハ借入金ヲヤツタカラト云フデ、是ガ爲ニ決
シテ我國ノ財政上ノ信用ヲ海外ニ墜スナント云フコトハ毛
頭無イト私ハ考ヘテ居ル、斯様ナコトハ須ラク確實ナ財源
ヲ得テ、一定ノ期間ニ其計畫ヲ遂行スルト云フ決心ヲ以テ
政府ハ働イタ方ガ却テ其信用ハ増ス方ナデス、今日ノ日
本ノ財政經濟上ノ信用ガ、三千五百萬ノ公債ガ殖エタカ
ラ、ソレガ而モ學校ヲ建テル爲ニ借リタラント云ウテ、海外ニ
於テ日本ノ信用ヲ疑フト云フヤウナコトハ、毛頭無イト私ハ
信ジテ居リマス、ソレデ是ガ初メテノ惡例ト云フ譯デハ決シ
テナイノデアリマス、從前カラモ財政ノ都合上、一時ノ建設
費ニ向テハ、已ムヲ得ズ公債若クハ借入金ニ依ツタコトガア
ルト云フコトハ、御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○木場貞長君 阪谷男カラ私ガ政府ニ問ヒマシタ趣旨ニ
付テ、ドウ云フ御考デアアルカト云フ疑ヒヲ持テ居デノヤウ
デアリマスカラ、明カニシテ置キタイト思ヒマスガ、豫算ノ目
的ニ反スルヤウナコトヲ致シテ費フト云フ希望ハ毛頭持シ
居リマセヌ、無論目的ノ存スルコトハ云フマデモナイコトデア
リマスガ、政府限リデ改正シテ宜シコトハ其方法ガアリマ
セウケレドモ、又政府限リデ出來ナイコトハ議會ニ諮ラレル
方法ガアル、ソレデ政府ハ適當ノ措置ヲ取ラレムコトヲ望ム
ト書イデアアルノデアリマスカラ、其點ハ宜シク政府ノ行政官
ノ權内ニ於テ是ハ眞ニ重キヲ置イテ、ソレ相當ノ方法ヲ設
ケラレテ處理シ、諮問機關ノ答申ガアッタ所ガ行政官ノ專斷
ニナラナイコトニ付テハソレト手續ガアル譯デアリマスガ
ラ、望ミトシテハ適當ノ措置ヲ採ラレムコトヲ希望スルト云
フ意味デアリマスカラ、間違ヒノナイヤウニ願ヒマス、尙ホ申
上ゲマスガ、二ツノ希望ハ單リ私一個ノ希望デナク、同志
方モ少クナイコトデアリマスカラ、念ノ爲ニ確メマスガ、總
理大臣ハ先刻總々御述ベニナリマシテ、高等教育機關ノ創
設及擴張ノ理由ヲ細カク御述ベニナデ満足イタシタ譯デ
アリマスガ、唯御尋ネ致シタイコトノ要點ハ、要スルニ二ツノ
我々ノ希望スル所ノモノハ御容レニナル御決心ト承知シテ
宜シウゴザイマスガ

○國務大臣(原敬君) 二ツト仰セラレタノハ……
○木場貞長君 我々「文部省ニ新タニ設ケラルヘキ教育
諮問機關ハ權威アルモノトセラレムコトヲ望ム」一ツハ「高
等教育機關ノ創設擴張ノ計畫ハ學校及學科ノ種類並其
施設分配等ニ就キ尙調査研究ノ餘地アルモノト認ムルガ
故ニ政府ハ宜シク教育諮問機關ニ諮問シ其答申ニ重キヲ
置キ大正九年度以降ニ於テ適當ノ措置ヲ取ラレムコトヲ
望ムコト」
○國務大臣(原敬君) 承知イタシマシタ、ソレナラバ政府
ハ喜ンデ御同意ヲ致シマス

○木場貞長君 之ニ重キヲ置イテ居ル次第デアリマスガ
ラ、總理カラ御辯明ニナレバ宜シウゴザイマスガ、尙ホ文部
大臣ノ御意嚮ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○國務大臣(中橋徳五郎君) 今ノ御尋ニ對シマシテハ唯
今總理大臣ヨリ大體御辯明ヲセラレタノデアリマスガ、文
部大臣ニ於テモ同様ノ考ヲ持テ居リマス、左様御承知ヲ
願ヒマス
○木場貞長君 果シテ然ラバ私ハ本案ハ原案ノ儘賛成ヲ
致スノデゴザイマス
○男爵阪谷芳郎君 唯今木場君カラ御尋ノ通り後二問
違ガ起ルト大事ナコトデアリマスカラ確メテ置キマスガ、豫
定經費要求書ニ學校ノ變更ガアリマスカドウカ、其學校ノ
即チ此間三分科ノ有力ノ一員カラ承タ所ガ、此學校ノ種
類ガ宜シクナイ、又工科理科ノ設備ガ不完全デアアル、又九
州北海道ニ工科ヲ置クノハ必要ハナイ、自分ガ一人トチ
テモ此事ハ主張セザルヲ得ヌト私ニ強ク云ハレタノデア
ルガ、併ナガラ今ノ木場君ガ第二ノ條件トシテ云ハレタ學校
ノ處理ト云フヤウナコトガアッタヤウデアリマスガ、果シテソレ

ガ豫定經費要求書ニ掲ゲテアル目的ヲ變更ヲナサルト云フコトニナレバ豫算ノ目的ト云フモノニ觸レハセヌカト云フコトヲ本員ハ懸念スルノデアリマス、詰リ本員ハ成ルベク圓滿ニ解決ノ附クコトヲ希望イタシマスガ、餘リニ唯是ノ纏メヲ急グガ爲ニ後ニ悔ユトモ及バザル紛議ヲ起スト云フヤウナコトハ御同様選ケナケレバナラナイコトデ、其主張ヲ通サムガ爲ニ事ヲ苟且ニシテ置クト云フコトハ宜クナイ、ソレデ木場君ニモ伺ヒ、總理大臣ニモ伺フノハ各自ニ掲ゲテアル學校ノ種類ガ變更ニナリ、三分科ノ有力ノ議員ノ要求モ満足サセル、之ヲ諮問機關ニ掛ケテ其目的ヲ變更スルナラバ或ハ會計法ノ目的ニ抵觸シヤセヌカ、是ハ肝要ノ點デアリマスカラ繰返シテ申シテ置キマス。

○木場貞長君 既設ノ學校デスラ相當ノ手續ヲ執レバ變更ガ出來ルノデアリマスカラ、計畫上ノ學校ヲ變更スル途ハアル譯デアリマス、其途ハ其事ノ重イ輕イニ從テ相當ノ途ガアルシ、又相當ノ手續ヲ採ラレタイト云フコトデアリマス、既設ノ學校デスラ變更ガ出來ルノデアリマスカラ、計畫上ノ學校ト雖モ變更ヲスルニ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌモノナラバ、政府ハ議會ノ協賛ヲ經ルト云フ結果ニナラウト思ヒマス、一々其目トカ項トカ云フモノヲ今此デ爭ウタリ研究ヲスル必要ハナイト思ヒマス、相當ノ方法ヲ採ラレタラ宜シト思ヒマス。

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ申シマスノハ、其事ガ屢、決算ニ於テ問題ニナッテ居ルコトデアリマスカラ、本員ハ其事ヲ知ッテ唯知ラヌ顏ヲシテ居ルト云フコトハ甚ダ不親切ト考ヘルカラ申シタノデ、ソレヲソレデモ宜シト云フコトデアレバ、本員ハ御注意ノ爲ニ申シタニ過ギマセヌ。

○木場貞長君 私ハ個人トシテ申シマスレバ、之ヲ主張スル意味デアリマセヌガ、自分ノ考トシテ申セバ此答申ノ結果學校ノ種類ヲ變ヘル場合ノ如キハ、自ラ此豫算ニ九年度ハ九年度、十年度ハ十年度ニ出ル譯デアリマスカラ、其他ノ名稱ノ變更ハ協賛ヲ經レバ一向差支ナカラウト思ヒマス。

○男爵阪谷芳郎君 木場君ノ御意見ハ木場君ノ御意見デアリマスカラ、本員ハ唯注意ノ爲ニ後ノ紛議ノ起ラヌ爲ニ、注意ノ爲ニ豫算ノ目的ト云フコトヲ申シタニ過ギマセヌ、ソレニ付テハ別ニ討論ヲスル必要ハナイト思ヒマス、又大藏大臣ノ御述ベニナリマシタ前例ハ長イ間ノコトデアリマスカラ記憶イタシマセヌガ、植民地ノ事業ノ經營トク陸海軍ノ擴張トク、或ハ製鐵所ノ如キハ殖産ノ事業トシテ幾ラカ例ガアルカ知レマセヌガ、ソレハ何レモ古イコトデ本員ハ能ク記憶イタシマセヌ、此學校ノ爲ニ此度ノ公債ヲ募集セラレルト云フコトハ願クハ避ケラレムコトヲ本員ハ希望シテ已ミマセヌ、故ニ本員ト致シマシテハ前申シマシタ修正說ヲ主張イタシテ置キマス。

○委員長(伯爵大木遠吉君) 御意見モ無イヤウデアリマスルカラ、阪谷男爵ノ御修正ノ御意見カラ採決ヲ致サウト思ヒマス、阪谷男爵ノ修正ノ御意見ニ御同意ノ諸君ガアリマシタナラバ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○委員長(伯爵大木遠吉君) 次ニ木場君ノ希望條件附ノ御賛成ノ說ニ付キマシテ決ヲ採リマス、木場君ノ此可決說ニ……希望條件附ノ可決說ニ御賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○委員長(伯爵大木遠吉君) 多數、依ッテ本案ハ可決セラレマシタ、是デ本日ハ散會イタシマス。

午後四時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵大木
副委員長 高崎
委員 遠吉君
親章君

大山 綱昌君
男爵神田 乃武君
男爵阪谷 芳郎君
男爵池田 長康君
木場 貞長君
田所 美治君
野々村久次郎君

國務大臣

內閣總理大臣兼司法大臣 原

大藏大臣男爵 高橋

文部大臣 中橋

政府委員

文部省專門學務局長 松浦

文部省普通學務局長 赤司

文部省宗教局長 柴田

文部書記官 山崎

敬君
是清君
德五郎君

鎮次郎君
鷹一郎君
駒三郎君
達之輔君

高等諸學校創設及擴張ニ關スル法律案特別委員會議事速記第一號中正誤

頁 段 行 誤 正
四 中 一 九 林博太郎君 大木遠吉君

大正八年三月二十四日印刷

大正八年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局